

日本安全教育学会誌投稿規程

1. 投稿者（著者、連名者を含む）は、本学会の個人会員であり、入会年度から当該年度までの年度会員費が納入済みでなければならない。
2. 投稿規程を満たさない原稿は、受け付けないことがある。
3. 本誌に掲載する投稿原稿の種類は、総説、原著、短報、論説、報告、資料、学会紹介、その他の区分とし、内容は次の通りとする。
 - (1)総説...安全教育に関する研究の総括、文献解題 原則として編集委員会から依頼するものとする
 - (2)原著...安全教育に関して、新たに構築された理論、開発した手法、発見した事実等に関する論文
 - (3)短報...原著に準じた論文を早期に短く報告するもの
 - (4)論説...安全教育に関する動向（理論の構築、展望、提言）等
 - (5)報告...安全教育に関するケースレポート、フィールドレポート
 - (6)資料...研究機関・行政機関・団体等により公表された安全教育に関する統計・研究・調査等に関する概要
 - (7)学会紹介...国内外で開催される（または開催された）安全教育に関する学会・国際会議、研究集会に関する紹介
 - (8)その他...安全教育に関する書評、論文等の紹介等
4. 本誌への投稿原稿は、未発表のものに限る。ただし、学会等での発表抄録等については、内容構成等をまとめ直した場合、既発のものであっても差し支えない。なお、著者（共著者を含む）が著作権を有する等、投稿に際して支障のないものに限る。本文末に、発表時の表題、発表学会・研修会、発表年月日を記し、既発表の内容、構成等をまとめ直したものであることを明記する。
5. 編集委員会は、「国際情報」担当常任理事の協力を得て、安全教育に関する国内外の動向について特集を組むことができる。内容により、本学会の会員でない者に投稿を依頼することができる。
6. 各号の原稿締切は、当分の間、当該誌の発行予定日の4ヶ月前とする。
7. 投稿の方法
 - (1)原稿3部（鮮明な複写でも可）に論文投稿票を添えて、本学会編集委員会事務局に提出する。
 - (2)原稿の投稿は、書留または簡易書留で郵送する。
8. 総説、原著、論説、報告および資料は、刷り上がり10頁（図表を含む。以下同じ）以内とする。短報および学会紹介は、刷り上がり2頁までとする。
9. 印刷に要する費用負担
 - (1)第8に定める頁を超える場合、または、特別な編集が必要とされる図・表・カラー印刷等の印刷に要する費用については、著者負担とする。
 - (2)抜き刷り印刷を希望する場合、費用は投稿者の負担とする。
10. 原著、短報、論説、報告、資料等の掲載順は、編集委員会が決定する。原稿受理日は、編集委員会が審査の終了を確認した年月日とする。
11. 原稿の書き方は、原則として次の要領による。
 - (1)原稿は、和文または英文とする。
 - (2)原稿は、パソコンの汎用ワープロソフトを使用し、A4判用紙に12ポイント（30字×25行）の活

字（明朝体。表題、見出しはゴシック体）を用いる。和文原稿は現代かなづかい、ひらがな横書きとする。英文原稿は、A4判用紙にダブルスペースで12ポイントの活字を用いる。

- (3) 表題、著者名、所属の順序に書き、本文は別葉から書き出す。表題、著者名、所属は、制限字数に含む。
- (4) 著者（複数の著者の場合は代表者）への連絡のため、著者の氏名、郵便番号、住所（または勤務先所在地）・電話番号・Fax番号・e-mailアドレスを記載する。これらは、本文制限字数から除外する。

(5)論文の構成等

- ① 原則として、はじめに（または、まえがき、緒言）、材料および方法（または対象および方法）、結果および考察とする。
- ② 論文の内容、研究方法等により、(5)－①の構成によらない場合は、理論展開と根拠を明確にした章・節による構成とする。
- ③ 見出しは、原則として大見出し〔1、2・・・〕、中見出し〔1）、2）・・・〕、小見出し〔(1)、(2)・・・〕とし、その他必要に応じてi、ii・・・、a、b、・・・を用いる。
- ④ 図・表の番号は、アラビア数字（1, 2...）を用いる。
- ⑤ 計量単位は、原則として国際単位系(SI)を用いる。
- ⑥ 文体は、平易な口語体を用いる。
- ⑦ 本文が和文の場合...英文の表題、著者名、所属、Key words（3～7語程度）、Abstract（500 words以内）・その和訳、および、和文の索引用語（3～7語程度）をつける。なお原著および論説以外は英文 Abstract を省略することができる。その場合は和文の要旨をつける。また短報と学会紹介は英文 Abstract とその和訳をつけない。
- ⑧ 本文が英文の場合...Abstract（300 words 以内）と3～7語程度の Key words をつける。和文表題、著者名、所属名、索引用語（3～7語程度）、および概要（1,200字以内）をつける。
- ⑨ 本文の区分は、次の通りとする。
例：表題...上下1行あけ、中見出し<はじめに、材料および方法（または対象・方法）、結果・考察>は上のみ1行あける。小見出しは行をあけない。なお、副題を付す場合は、表題（主題）の右に―（ダッシュ）を付けてから記載する。
- ⑩ 図や表はワード、エクセルなど汎用ソフトで作成する。手書きにより図を作成する場合は、白紙または青色方眼紙を使用して鮮明に描き、文字は明朝体とする。
- ⑪ 写真に文字または印を入れたい場合は、写真の上にトレーシングペーパーを重ね、その上に文字、印を書き込む。
- ⑫ 図表の説明は、原則として本文と同一の言語とし、図1、表1のように書く。また、本文中の挿入箇所を、本文原稿の該当部分の欄外に図1などと朱記する。
- ⑬ 図・表・写真の番号は、章別の番号とせずに、それぞれ通し番号を付す。また、それぞれにタイトルを付す。

12. 文中の引用文献には引用順に番号を付け、引用文献は末尾に一括して番号順に記す。引用文献は、主要論文、著書等に絞る。引用文献の記載は、原則として次の形式による。

- (1) 雑誌の場合...著者名：表題．雑誌名：巻（号）,引用頁,発行年.

- (2) 単行本の場合...著者名：書名；引用頁,発行社の所在地名：発行社,発行年.
- (3) 分担執筆の場合...著者名：分担執筆部分の表題. 編集者名. 書名. 版数；引用頁, 発行社の所在地名：発行社,発行年.
- (4) 著者名、編者名が複数の場合、3名までは全員を記載し、4名以上の場合は最初の3名を記載し、以下「他」（日本語文献の場合）、または、「et al」（外国語文献の場合）と記す。
- 例①…○○○男, □□□子, △△△太 他：小学校における安全教育に関する研究. 安全教育学研究：5(1)；15－20,2005.
- 例②…○○○夫： 幼児の発育発達と安全；56-58,東京：安全教育社,2006.
- 例③…○○○男： 野外活動における安全管理. △△△介編：学校の安全管理. 2版；122－140, 東京：新教育出版社, 2003.
- 例④…Young D.S. Lee D.N., Reinhardt P., et al. : Training children in road crossing skills using a roadside simulation : Accident Analysis and Prevention : 19(4) ; 327－341,1987.
- 例⑤…Gillham B. and Thomson J.A. : Child safety : problem and prevention from preschool to adolescent ; 40－45,Boston : Routledge Inc.,1996.
- 例⑥…Taylor I.E., : Political risk culture ; In Bennett P.,Calman K. ed : Risk communication and public health,1st ed ; 152-169, Oxford : Oxford University Press,1999.
13. 論文の採否は複数の査読委員の意見を考慮して、編集委員会が決定する。
14. 掲載が決定した論文等の著者校正は、原則として初校のみとする。
15. 投稿後の原稿は、原則として修正できない。ただし、査読後、編集委員会により内容の修正等を指摘された原稿について、著者は査読意見の指摘事項に対応するための訂正ができる。
16. 本学会誌掲載の著作物の複写権、有線送信権は本学会に帰属するものとする。
17. 本投稿規程は平成12年（2000年）7月8日から適用する。
平成18年12月9日一部改正。平成18年度より適用する。
平成20年9月13日一部改正。平成20年度より適用する。
平成21年8月3日一部改正。平成21年度より適用する。